

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1027
施設名	玉川保育園
施設所在地	東京都立川市富士見町6-72-1
法人名	社会福祉法人草萌学舎

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭及び園周辺の自然を活かした探究活動

<テーマの設定理由>

玉川保育園ではかねてより園庭及び園周辺の自然を活かした活動を日常的に行ってききましたが、今回、改めて園を取り巻く「自然」（動植物、昆虫、樹木等）をテーマに、子どもの「なんだろう」「不思議だな」といった言葉を大切にしながら活動を実施しました。

2. 活動スケジュール

2024年4月～2025年3月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

園庭MAP用台紙、観察ケース各種、図鑑、虫眼鏡、タブレット端末、栽培用プランター、苗（トマト・ナス・アスパラ）、ホワイトアスパラ栽培用黒フィルター（園で自作）、アゲハ蝶の幼虫を観察することの出来る環境、アリの生態観察が出来る環境、アリのマスコットキャラクター（「ありこん」）、サツマイモ栽培体験、雲の種類一覧表、大根栽培用ポット（ペットボトルで作成）、水栽培用ポット、写真・動画管理用PC、教材DVD視聴・活動内容紹介用テレビ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

園庭にどんな樹木があり、そこにどんな動物や昆虫が生息しているのかを園児と一緒に調べ、玉川保育園オリジナルの「園庭MAP」を作成する活動を中心に、その活動を行う中で出てくる子ども達それぞれの「なぜ」「不思議」に着目しながら、様々な方向へと探究活動を発展させて通年で実施しました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

アスパラ栽培を行った際、日々の観察の中で子ども達がアスパラの出始めは白いことに気づいたことから、白がいつ緑になるのかの探究に発展。子ども達になぜ白いのかを聞いてみると「土の中では白いから、引っ張ると白いアスパラが出てくる！」と面白いアイデアが出てきました。保育園の休み明けに、その白い芽が成長して緑になっていたのも、白がいつ緑になるのか不思議に思った子ども達は、「もしかしたら夜に緑になるんじゃないか？」と推理。ただ、朝に発見した白い芽を夕方に見てみるとすでに緑になっており、謎は深まるばかりでした。

そこで、保育者から子ども達に「土から出てくる時は白いから、土の中と外だと何が違うかな？」と投げかけてみると、子ども達から「土の中は暗くて、外は明るい！」「太陽があるから緑になるんじゃない？」と次々とアイデアが出てきて、アスパラが緑色になるには太陽の光が必要なが分かりました。

そこから「じゃあ、お日様の出ている時間も暗くしておくと、アスパラは何色になるのか？」の探究活動に発展。黒いフィルムを用意し、アスパラの赤ちゃんに被せておくと、ホワイトアスパラの栽培に成功しました。

さらに、その様子を見ていた子が「白と緑のグラデーションのアスパラも作れるんじゃない？」と提案し、これも実験を行いました。出始めのアスパラの一部に黒のビニールテープを巻いて数日置いておくと、白と緑のグラデーションのアスパラの栽培にも成功しました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもの言葉や発想で様々な方向に活動が発展するので、保育者である私たち大人も改めて気付かされたり、知ることが多かったです。子ども達にどのような体験・探究をしてもらいたいのかを考え、そのためにどのように環境をデザインしていくべきか、筋道をしっかりと保育者がイメージすることが活動を行う上で大切だと感じました。